

《用語集》

【あ行】

- 一級河川（いっきゅうかせん）

河川法の規定により、国土保全上または国民経済上特に重要な水系で、政令で指定したもの（一級水系）のうち国土交通大臣が指定した河川

- 雨水幹線の高段系（うすいかんせんのこうだんけい）

浸水対策のために整備する主要な水路。掘り割りの構造で地上から見えるようになっているもの

- 雨水幹線の低段系（うすいかんせんのていだんけい）

浸水対策のために整備する主要な下水道管など。土の中に埋設されており地上からは見えない構造で、点検のためのマンホール等が設けられている

- 雨水取水ゲート（うすいしゅすいげーと）

下水道の雨水幹線に雨水を取り込むために設置されているゲート。晴天時には閉じられており農林関係の用水路等に設置されている樋門とは機能が異なる

- 雨水流出抑制（うすいりゅうしゅつよくせい）

雨水が河川や下水道に直接的に流出しないようにすること

- 雨水流出抑制施設（うすいりゅうしゅつよくせいしせつ）

雨水流出抑制を目的として設置される施設のことで、貯留施設と浸透施設に分類される

【か行】

- 可搬式ポンプ（かはんしきぽんぷ）

運搬、持ち運んで設置することができる排水ポンプ

- 既存ストック (きそんすとっく)

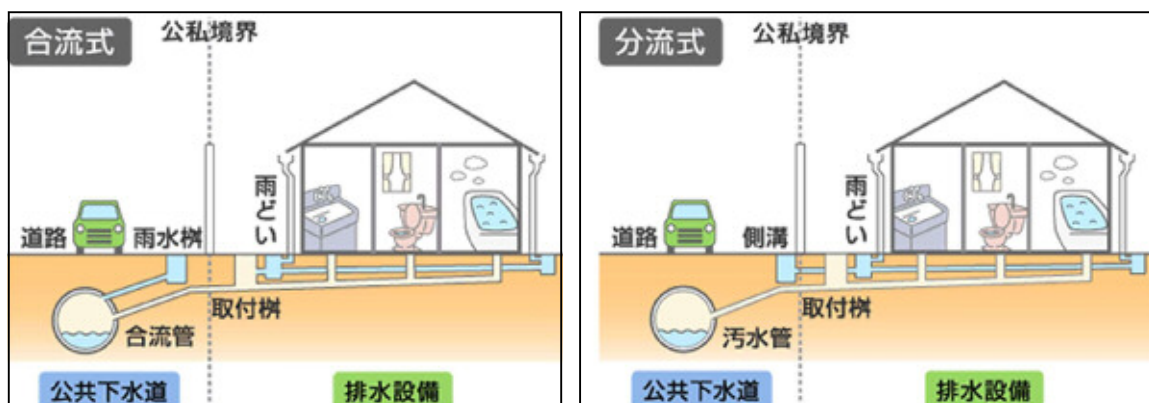
既に整備されている道路、水路や排水機場などの公共施設であり、既存施設ともいう

- 緊急速報メール (きんきゅうそくほうめーる)

緊急地震速報に加えて国や自治体が発信する「災害・避難情報」や「津波警報」などを携帯電話へ発信するサービスの名称

- 合流式下水道 (ごうりゅうしきげすいどう)

雨水と汚水を同じ管により流す下水道のことで、逆にこれらを分けて流す下水道のことを「分流式下水道」という



合流式と分流式のイメージ

【さ行】

- サイフォン (さいふぉん)

水路が河川、道路などの障害物を横断する際、その下に設けられる導水管

- 災害用モバイル端末 (さいがいようもばいるたんまつ)

災害時対応時に、被災現場等の情報を迅速に収集・把握するために、市の職員が携行するスマートフォンやタブレット端末などの小型軽量で持ち運ぶことができる情報端末装置

被災現場の情報や写真を、その場で市の災害対応システムに入力することで市民等へ正確な情報を提供し、安全な避難行動を促進する

- 浚渫（しゅんせつ）

河川や用水路に堆積している土砂などを元の川底まで取り除き、水の流れをよくする工事

- 処理区（しよりく）

汚水処理する下水道において、処理する区域を地形的要因や社会的要因などにより分割したもの

- スtockマネジメント（すとっくまねじめんと）

インフラ等のストック（施設）全体を対象に、計画的な点検・調査等によってその状態を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、点検・調査、修繕・改築を一体的に捉えてストック（施設）全体を計画的かつ効率的に管理すること。ライフサイクルコストの低減につながる。

- 自主防災会（じしゅぼうさいかい）

住民の隣保共同の精神に基づく自発的な防災組織のこと

岡山市では、地域の防災活動を行う町内会、連合町内会、その他これに準ずる団体で岡山市に届出を行った団体のことをいう

- 水害タイムライン（すいがいたいむらいん）

大型台風が襲来し、堤防が決壊した場合などに備え、防災関係行政機関、公共交通事業者、インフラ事業者、地下街管理者および報道機関などが連携し、気象情報や河川情報に基づき大規模災害の発生時点から遡って各関係機関が事前に取り組むべき防災対応を時間軸に沿って定める防災行動計画

【た行】

- 透水性舗装（とうすいせいほそう）

雨水を直接透水性の舗装体に浸透させ、路床の浸透能力により雨水を地中へ浸透させる舗装

- 同報系防災行政無線（どうほうけいぼうさいぎょうせいむせん）

屋外拡声器や戸別受信機を介して、市町村役場から住民等に対して直接・同時に防災情報や行政情報を伝えるシステム

- 特別浚渫（とくべつしゅんせつ）

雨水排水の観点から、用水上必要となる通水能力や貯留能力以上の断面を維持するために、より短期間のサイクルで実施する浚渫のこと

【な行】

- 内水（ないすい）

堤内地（堤防に守られた土地のことで住宅地など）に降った雨水

川から水が溢（あふ）れたのではなく、排水能力を超える降雨により浸水することを「内水氾濫（はんらん）」という

反対に、堤防の外（河川の流れている側）を堤外地（ていがいち）といい、河川が増水し、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊して氾濫する事を「洪水」という

- 中区水害タイムライン（なかくすいがいたいむらいん）

倉安川沿線の地域の浸水被害を軽減するために、関係機関がそれぞれの役割や行動を定めた計画

- 二級河川（にきゅうかせん）

河川法の規定により、一級水系以外の水系で公共の利害に重要な関係があるもののうち都道府県知事が指定した河川

【は行】

- 排水区（はいすいく）

雨水を排除する下水道において、排水する区域を地形的要因や社会的要因などにより分割したもの

- 排水性舗装（はいすいせいほそう）

雨水が浸透する層（透水層）と浸透しない層（不透水層）を組み合わせ、雨水を舗装体内部から側溝などへ排水させる舗装

- 避難確保計画（ひなんかくほけいかく）

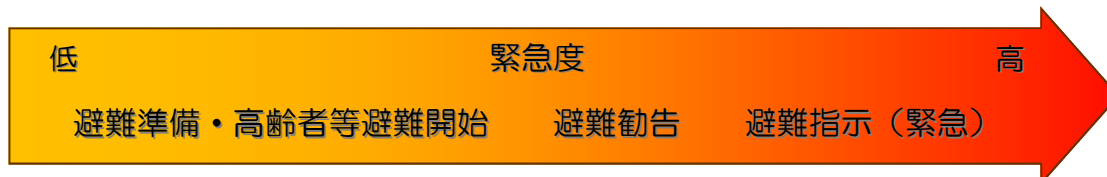
地下街や要配慮者施設において、利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保を図るための計画

- 避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）

（ひなんじゅんぴ・こうれいしゃとうひなんかいし、

ひなんかんこく、ひなんしじ（きんきゅう））

災害時における住民の皆様への避難の呼びかけには、以下の三種類があり、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の順に避難の緊急度が高まる



呼び掛け緊急度イメージ

- 避難準備・高齢者等避難開始

（ひなんじゅんぴ・こうれいしゃとうひなんかいし）

避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合に発表される情報

避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始し、その他の人は避難の準備を整える段階突発性が高く、予測が困難な土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いでは、避難準備が整い次第、当該災害に対応した避難場所へ立退き避難することが強く望まれる

避難勧告（ひなんかんこく）

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合に発表される情報

予想される災害に対応した指定避難所に速やかに避難をおこなうべき段階
外出することによって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所へ避難を行う

避難指示（緊急）（ひなんしじ（きんきゅう））

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合に発表される情報

既に災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状況となっており、まだ避難していない人は緊急に避難が必要な段階
外出することによって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所へ避難を行う

・PDCAサイクル（ぴいでいしいえいさいくる）

Plan（計画）⇒Do（実行）⇒Check（評価）⇒Action（改善）の繰り返しによって業務を継続的に改善する手法

・普通河川（ふつうかせん）

河川法の適用を受けない河川

・分流式下水道（ぶんりゅうしきげすいどう）

⇒合流式下水道（ごうりゅうしきげすいどう）に記載

・防災アプリ（ぼうさいあぷり）

スマートフォンやタブレット端末等で、災害時の情報や避難所の場所など、様々な情報収集が可能なアプリケーション

- 防災士（ぼうさいし）

“自助” “共助” “協働” を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が認証した人

- 防災まちづくり学校（ぼうさいまちづくりがっこう）

岡山市が主催し、地域における防災リーダーを養成するため、講座や総合防災訓練への参加、「人と防災未来センター」の視察、救急救命講習など（H29年度）を実施。詳細は岡山市危機管理室（086-803-1082）へ。

- 防災リーダー（ぼうさいリーダー）

自主防災組織の活動を効果的に実践するために必要な調整や誘導などを行う、地域の自主防災活動の中心となる人

- ボトルネック（ぼとるねっく）

河川や水路などで上流側の幅よりも、著しく狭くなっている箇所や流水に支障をきたしている箇所

【ら行】

- ライフサイクルコスト（らいふさいくるこすと）

施設の建設に要する経費、供用期間中の維持保全コストや、改築更新・廃棄にかかる経費に至るまでのすべての経費の総額

《 防災リンク集 》

(平成30年度時点)

岡山市浸水対策基本計画2019

おおむね30年後の姿をイメージし、下水道や河川等の整備に関する事項のみならず、下水道や河川への雨水の流出量の低減、森林・農地・緑地等の保全、自助・共助の促進等、市・市民・事業者が目標を共有しつつ一刻も早く浸水対策を実現するための幅広い内容を含んだ計画です。

URL : http://www.city.okayama.jp/gesui/keikakucyousei/keikakucyousei_00131.html

インターネットから

“岡山市 浸水対策計画”で検索



雨水流出抑制対策の手引き

岡山市浸水対策の推進に関する条例第14条により、3,000m²以上の開発行為等を行う際に義務付けられた雨水排水計画の協議において必要となる、雨水流出抑制対策について示したものです。

URL : http://www.city.okayama.jp/gesui/keikakucyousei/keikakucyousei_00132.html

インターネットから

“岡山市 雨水排水計画”で検索



雨水流出抑制施設設置補助制度

雨水貯留タンクの設置や浄化槽を雨水貯留槽へ改造する際に費用の一部について岡山市が補助を行う制度です。

また、開発行為等における雨水流出抑制施設の設置費用の一部についても助成を行っております。

URL : http://www.city.okayama.jp/gesui/hukyuukanri/hukyuukanri_00003.html

インターネットから

“岡山市 雨水貯留タンク”で検索



ハザードマップ

「岡山市全域ハザードマップ」とインターネットで検索することで岡山市の各種ハザードマップ（津波、洪水・土砂災害、浸水（内水）、地震防災マップ）がご覧になれます。

URL : http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00220.html

インターネットから

“岡山市全域ハザードマップ”で検索



また、岡山市地図情報からも防災情報マップを見ることができます。

URL : http://www.city.okayama.jp/okayama/okayama_00017.html



旭川水害タイムライン

低平地が広がる岡山平野を抱える旭川の下流部において、国や岡山県、岡山市など防災に関わる機関が連携し、住民の生命を守るために、先を見越した早期の防災対応について、それぞれの役割や行動を定めた計画のことです。

URL : <http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/time28.html>

インターネットから

“岡山市 旭川水害タイムライン”で検索



防災備蓄土及び土のう袋給付事業

地域において町内会を中心にした浸水対策を実施する場合に、町内会または連合町内会からの申請を受け、土のう作成用の備蓄土と土のう袋を給付する制度です。

申請は各区役所の総務・地域振興課で行うことができます。

URL : http://www.city.okayama.jp/toshi/kasenkouan/kasenkouan_00004.html

インターネットから

“岡山市 土のう袋給付事業”で検索



おかやま防災情報メール（岡山県）

気象台が発表する大雨、洪水等の警報、注意報や、岡山県内で観測された雨量、河川水位、潮位など最新の防災情報が配信されるサービスです。

利用登録の手順は以下のとおりです。

- ① in@bousai.pref.okayama.jp（英語版：in-e@bousai.pref.okayama.jp）あてに空メールを送信
- ② 送られてくる登録用メールに記載されているURLから配信を希望する情報を登録

URL：<http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/mail/>



インターネットから
“おかやま防災情報メール”で検索



岡山市浸水対策行動計画 2019

平成31年 4月発行

岡山市下水道河川局 下水道河川計画課

〒700-8554

岡山市北区大供一丁目2番3号

TEL: 086-803-1499

FAX: 086-803-1474

E-mail: keikaku@city.okayama.lg.jp